

『専修ビジネス・レビュー』

Vol.8 No.1 刊行のことば

専修大学商学研究所所長 **渡辺達朗**

『専修ビジネス・レビュー』は、専修大学商学研究所の設立40周年を記念して、2006年に創刊された。その前身は、1976年の商学研究所設立10周年の節目に創刊された『商学研究年報』（毎年1号を刊行）で、商学研究所創立当初から発刊されていた『商学研究所報』と並んで、所員等の研究活動の重要な発表の場となっていた。本誌は、このよき伝統を受け継ぎつつ、社会や地域、産業界に対する情報発信力を強化し、双方のコミュニケーションを充実させることを狙いとして、刊行されるようになったのである。

本誌は、創刊以来、特集論文と自由論題で構成する編集方針をとっている。本号（Vol.8 No.1）では、「ベトナムにおけるビジネス環境」と「震災復興とローカル・ビジネスの役割」という2つの特集テーマを組んでいる。前者では、商学研究所がベトナムの国民経済大学ビジネススクールと組織間協定を締結して取り組んでいる共同研究の成果の一部を公開させていただいた。後者では、震災復興におけるローカル・ビジネスの役割を研究することによって、国内経済における企業活動と地域社会とのあり方を見直す論点を提供させていただいた。

専修大学は「社会知性の開発」を理念として掲げ、その具体化について全学あげて取り組んでいる。商学研究所においても、こうした理念の下で幅広い視点から、社会や地域、産業界の方々との連携・協力をいっそう強めながら、定例研究会、公開シンポジウム等の特別研究会、プロジェクトチームによる共同研究、海外研究機関との組織間協定に基づく共同研究、外部からの受託研究といった研究・教育活動を推進していきたいと考えている。

ここであらためて、これまでの本誌読者の皆様、および大学関係者の皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、今後も引き続きご支援、ご協力いただくことをお願い申し上げます。

2013年1月21日